

## アワガタケスミレ

(写真・文 太田祥作)

(学名: *Viola awagatakensis*)

【スミレ科】



厚く地面を覆っていた雪が解け、草木が次々と芽吹く4月には、様々なスミレが咲きそろいます。湿地周辺では白色のツボスミレ、山の尾根筋では黄色のオオバクスミレ、乾いた林床には薄桃色のマキノスミレ、湿った林床には稀にエイザンスミレなど、環境によって異なるスミレが花を咲かせます。薄青いたちツボスミレの仲間は、平地から山地まで様々な環境で見られ、ときには木の窪みのコケの上に生育する株もあるほどです。

さて、今回紹介するアワガタケスミレは、日当たりの良い岩場や斜面の崩壊地に生育します。小さめで厚く光沢の強い葉をもち、その基部が直線状となっているのが特徴です。花は上品な薄紫色をしており、蜜が溜まる<sup>きよ</sup>「距」という部分が、煙突のように後方に長く突き出しています。

アワガタケスミレという和名は、新潟県の加茂市と三条市に跨る<sup>またが</sup>粟ヶ岳<sup>あわがたけ</sup>で発見されたことに由来します。分布の狭い種で、新潟県、山形県、そして福島県の3県からしか見つかっておらず、環境省のレッドリストでは準絶滅危惧に選定されています。福島県内では喜多方市以西の会津地方にのみ分布しており、その局所性・希少性から、福島県のレッドリストでは絶滅危惧II類に選定されています。

そんな珍しいアワガタケスミレですが、只見町では要害山などの登山道や、山裾の路肩などで比較的容易に観察することができます。この地域ならではのスミレです。ぜひ探してみてください。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展「雪国のブナを極める」

会期：2023年4月15日(土)～7月24日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

また、4月には下記観察会を開催予定です。詳細は只見町ブナセンター(0241-72-8355)までお問い合わせください。

#### 「春から初夏の野鳥観察会」1回目

日時：4月23日(日) 9:00～12:00

集合：叶津集会所駐車場に9:00集合 ※事前予約制